

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

岐阜県 池田町

業務名	業種・事業名	管理者の情報	自己資本構成比率（％）
法非適用	電気事業	非設置	該当数値なし
水力発電所数	ごみ発電所数	風力発電所数	太陽光発電所数
1	-	-	-
その他発電所数	料金契約終了年月日	FIT・FIP適用終了年月日	電力小売事業実施の有無
-	令和21年3月20日 宮地発電所	令和21年3月20日 宮地発電所	無
売電先	地産地消の見える化率（％）※1		
中部電力パワーグリッド株式会社	-		

※1 行政区域内の需要家に小売されたことが客観的に明らかであるものを計上。なお、この基本情報をもって全ての地産地消エネルギーへの取り組みを評価するものではない。

年間発電電力量（MWh）	R02	R03	R04	R05	R06
水力発電	263	211	251	251	144
ごみ発電	-	-	-	-	-
風力発電	-	-	-	-	-
太陽光発電	-	-	-	-	-
合計	263	211	251	251	144

	FIT・FIP以外	FIT・FIP	合計
年間電灯電力料収入（千円）	-	4,900	4,900

剰余金の使途について（具体的な使用実績事業を記入してください）	
基金への積立の有無…有	
目的：次年度以降の機器等の修繕費及び更新費	2,217千円
一般会計への繰出しの有無…無	
目的：土地改良施設の維持管理費	710千円

分析欄

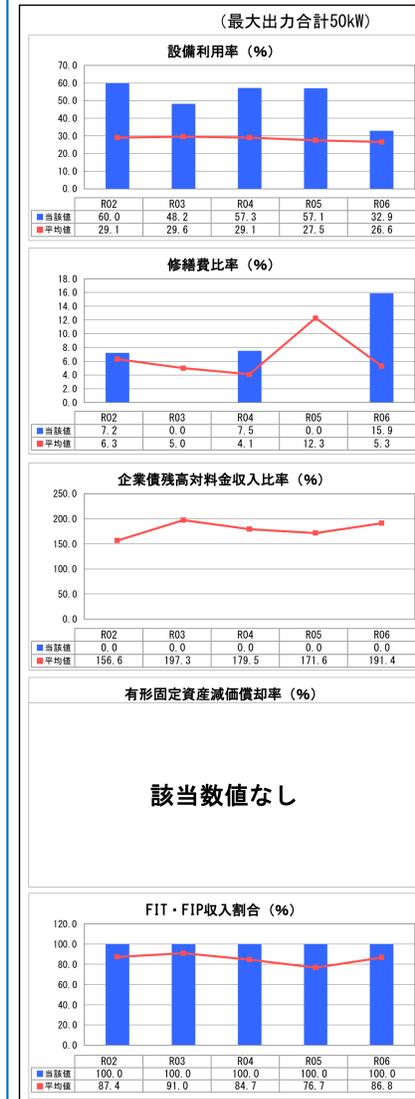
1. 経営の状況について  
 収益的収支比率及び営業収支比率は去年と比べて大きく下がっている。これは昨年度より降雨量が減少したこと、台風に伴う豪雨の影響により取水口が被災し取水量が減少したことが原因であると考えられる。現時点においては総収入によって総費用を賄えているが、発電量の低下により収益が減少したため、毎年の目標となる積立金を積み立てられていない。そのため今後の設備の更新や修繕計画に支障をきたす可能性がある。販売電力量1MWh当たりにかかる費用をあらわす供給原価は昨年より増加しているが、これは収益的収支比率及び営業収支比率が昨年より減少したことが原因であると考えられる。

## 1. 経営の状況

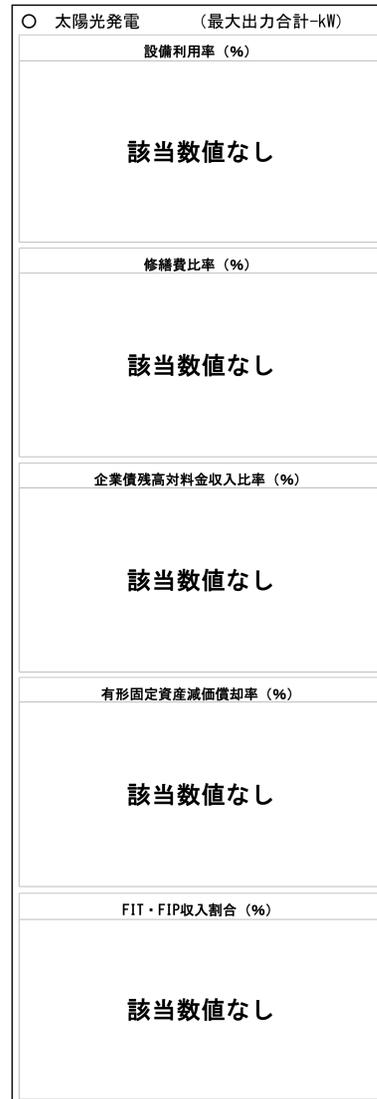
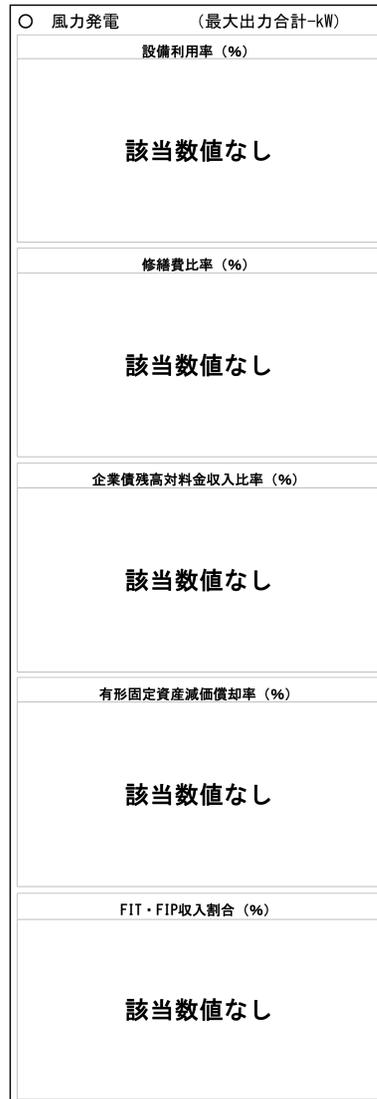
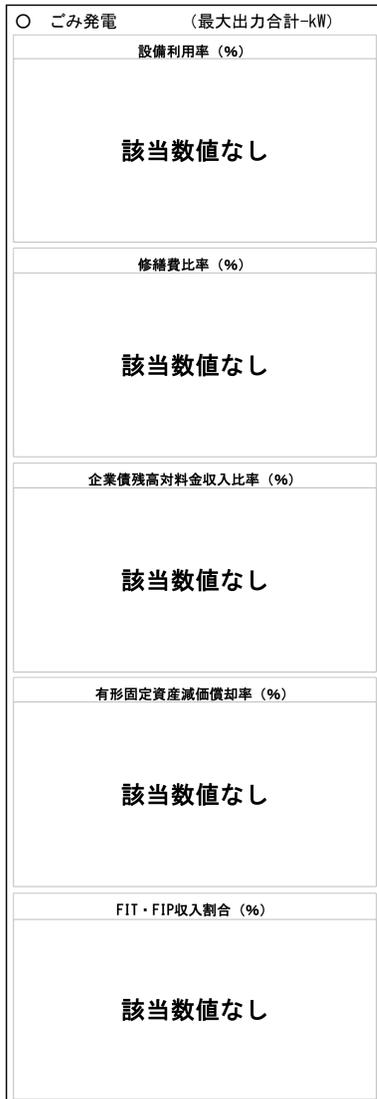


## 2. 経営のリスク

### ●施設全体



### ●発電型式別



## 2. 経営のリスクについて

設備利用率は32.9%で、前年度より24.2%減少している。昨年と比較し発電電力量が大幅に減少しているが、これは年間降水量の減少および取水口の被災に伴う発電電力量の低下が原因であると考えられる。本発電所は谷水から導水する農業用水を発電用水として用いるため、大規模な漏水が生じない限り計画的な発電が見込めるが、取水量の増減により発電電力量が左右される。谷水は発電用水に限らず下流の受益地に給水を行うなど農業に不可欠なものであるため、取水口の迅速な修繕が求められる。

### 全体総括

経営状況は収益的収支比率を100%以上に維持し、計画的な基金積立をしており別会計への繰出も行っている。しかし令和6年度においては取水量の低下により発電電力量が例年より減少し、計画的な積立が行えなかった。発電所稼働が始まってから数年が経過しており今後大規模な修繕が発生する可能性は増加すると考えられる。今後の設備更新において各設備の耐用年数や固定価格買取制度の契約期間終了後の買取価格の下落に伴う収入の減少も視野に入れた更新を行う必要がある。

※ 令和2年度から令和6年度における各指標の全国平均値は、当時の団体数を基に算出していますが、設備利用率及び修繕費比率、企業債残高対料金収入比率、FIT・FIP収入割合については、令和6年度の団体数を基に平均値を算出しています。